

施策名	児童生徒の「生きる力」を伸ばす教育の実践事業
事業名	現職研修事業
目的	長久手市立小・中学校の教職員の資質向上を図る。
目標	指導法の研修(ICTの活用)、教員としての資質向上のための研修(LGBTの理解)、訪問指導員による授業実践への指導等により、各校の学校評価において6割の児童生徒、保護者が「授業を理解して取り組んでいる」ことを目指す。
取組状況	・校内の授業研究会の実施及び市内の研究員を委嘱する。 ・2年間の研究実践、全体研修の折に児童・生徒の変容を通して、成果の発表を行う。
点検・評価	

施策名	
事業名	市採用少人数指導非常勤教職員の配置事業
目的	個別に学習の支援が必要な児童生徒に教科指導を行うことで、児童生徒の教科における理解を深め、円滑な学校生活が送れるようにする。
目標	少人数指導やTTでの児童生徒への学習支援を行うことで、年度末の各校の学校評価において6割以上の児童生徒、保護者ともに「授業を理解し楽しく取り組んでいる」ことを目指す。
取組状況	・非常勤教員を12名採用し、昨年度より3名増加することで、少人数(1/2クラス)で授業を行い、個に対応する時間を増やし充実を図る。
点検・評価	

施策名	児童生徒の「生きる力」を伸ばす教育の実践事業
事業名	就学相談事業(体験入学を含む)
目的	児童生徒の特性や発達状況に応じて、一人一人の能力や特性に合わせた教育を行う。
目標	児童生徒の適正な就学により、年度末の各校の学校評価において、全ての児童生徒、保護者がともに「学校には毎日行きたい。」ことを目指す。
取組状況	・就学相談があれば指導主事が必ず付き添い学校見学を行う。 ・学校の実情を見てもらい、対応について保護者と相談を行う。
点検・評価	

施策名	児童生徒の「生きる力」を伸ばす教育の実践事業
事業名	学級指導補助員配置事業
目的	個別に支援が必要な児童生徒に学習指導や生活支援を行う。
目標	個別に支援が必要な児童生徒への学習支援、協力学級への付き添い、自立活動のための生活支援を行うことにより、年度末の各校の学校評価において6割以上の児童生徒、保護者がともに「学校には毎日生きたい。」「授業を理解し楽しく取り組んでいる。」ことを目指す。
取組状況	・個別に支援が必要な児童生徒に寄り添い、担任や教科担任と連携し、学習指導や生活支援を行う。 ・学級指導補助を昨年度よりも9名増員し、授業に適応できない児童・生徒に寄り添い学習に向かわせる。
点検・評価	

施策名	児童生徒の「生きる力」を伸ばす教育の実践事業
事業名	インクルーシブ教育の実践事業
目的	児童生徒の発達段階や障がい等の状況など一人一人の特性に合わせ、個別の学習活動だけでなく、できるだけ大きな学級集団の中での学習活動の場面を多く取り入れ、多様な個性を受け入れ、ともに育つ児童生徒を育成する。
目標	年度末の各校の学校評価における該当学級の年度末の各校の学校評価において6割以上の児童生徒、保護者がともに「学校には毎日行きたい。」「授業を理解して取り組んでいる。」ことを目指す。
取組状況	・特別支援学級と通常学級との交流授業や交流行事を行う。 ・通常学級で最大5割程度の参加を目指し交流を図るように特別支援教育コーディネーターを中心に体制を整える。
点検・評価	

施策名	児童生徒の「生きる力」を伸ばす教育の実践事業
事業名	いじめ対策事業
目的	長久手市いじめ防止基本方針を受け、学校の内外を問わず、児童生徒の健全育成といじめのない学校づくりを目指す。
目標	いじめを原因とする不登校や自らを傷つけるような重篤ないじめの発生0件を目指す。
取組状況	・各学校において、いじめ不登校対策委員会を毎学期、年に3回実施し、現状報告とその対策を講ずる。 ・緊急の場合は、その都度いじめ不登校対策委員会を適時開催する。
点検・評価	

施策名	地域との関わりの強化
事業名	地域との連携事業
目的	地域に開かれた学校づくりの推進するため、地域コミュニティとの連携強化や、学校支援ボランティアの活動を推進する。
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、家庭、地域が集う(コミュニティ)場の設定</li> <li>・まちづくり協議会や自治会等と連携し、学校支援体制(ボランティア)の仕組みの構築</li> </ul>
取組状況	・まちづくり協議会に教職員が参加するなど地域と学校が連携する仕組みを検討する。
点検・評価	

施策名	学校施設整備事業
事業名	北小学校増築事業
目的	北小学校区内における児童生徒数の増加に対応するため、必要な教室数を確保する。
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童数を推計し、将来にわたって必要な教室を確保</li> <li>・基本実施設計を平成28年度末までに完了する。</li> </ul>
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年5月に基本・実施設計委託の入札を実施</li> <li>・基本設計が完了次第、11月頃に近隣住民向け説明会を行う。</li> </ul>
点検・評価	

施策名	学校施設整備事業
事業名	長久手小学校・長久手中学校バリアフリー改修事業
目的	障がいを持った児童や保護者などを含め、誰もが校舎を安全に移動できるようにする。
目標	・平成28年度内に工事を完了する。
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学予定児童の保護者と面談</li> <li>・平成28年5月に入札を行う。</li> <li>・長久手小学校及び長久手中学校と定期的な打合せを行い、情報を共有する。</li> </ul>
点検・評価	

## 点検評価シート(給食センター)

施策名	安心・安全な給食の提供
事業名	給食時の調理員派遣事業
目的	対象 保育園、小中学校 目的 1 児童、生徒に給食調理のありがたさを理解させる。 2 調理員に提供対象を意識させ、安全な給食提供の意欲を持たせる。
目標	全保育園(6園)、小中学校(9校)へ1回以上派遣
取組	4月から7月末、全保育園に派遣。9月以降小中学校に派遣。 小中学校に関しては、「あいちを食べる学校給食週間」を意識して実施する。  1 保育園派遣 (1) 4月から7月まで、月1回・1園、調理員を各園順番に給食喫食時に派遣。(7月3園)  2 学校派遣 (1) 4月から5月 調理委託事業者との調整。 (2) 4月から8月 学校との調整。 (3) 9月以降 月1回、1校～2校程度調理員を給食喫食時に派遣。
点検・評価	取組状況で項目立てした項目について自己評価をする

施策名	安心・安全な給食の提供
事業名	調理体制の安定確保
目的	対象 給食センター、小中学校 目的 8月から調理委託を実施する。
目標	9月からの学校給食調理、配膳業務を民間事業者で実施する。
取組	1 4月から5月 8月以降の保育園パート調理員の採用する。 2 6月から7月 保育園パート調理員の調理訓練を実施する。 3 8月 民間事業者、学校給食調理の実習を実施する。 4 9月 民間事業者、学校給食調理を開始する。
点検・評価	

施策名	安心・安全な給食の提供
事業名	地産地消推進事業
目的	対象 保育園、小中学校 目的 地場農産物の振興と食育としての紹介
目標	愛知県産農畜産物の使用量を重量ベースで、平成27年度を上回る。(51.1%)
取組状況	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地場産の優先買い付け <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 価格で1割程度の差は、愛知県産とする。</li> <li>(2) 市場価格の3倍までは、長久手市産を購入する。</li> </ol> </li> <li>2 地場産の紹介記事掲載 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 毎月の献立表に愛知県産のコメントを入れる</li> <li>(2) 学期に1回の給食だよりに長久手市産の紹介を入れる。</li> <li>(3) ホームページに献立レシピを学期ごとに更新する。</li> </ol> </li> </ol>
点検・評価	

## 点検評価シート(平成28年度 中央図書館)

施策名	子ども読書活動推進
事業名	学校連携事業・児童館連携事業
目的	中央図書館の連携事業による学校及び児童館への働きかけにより、子どもと本の出会いを増やす環境づくりを行い、家庭、地域、学校などにおける子どもの読書活動の推進を図る。
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども読書習慣の定着化と読書意欲の向上を図る。</li> <li>・学校図書館及び児童館図書室を整備し、子どもと本の出会いを増やす環境づくりを行う。</li> </ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校連携司書を5名から6名へ増員し、巡回スケジュールを小学校は週3回、中学校では週1回の実施を定着させる。</li> <li>・学校連携司書が作成する学年別に推薦した100冊ほどの推薦図書リストである「必読書リスト」の小学校への配布を3校から5校へ増加する。</li> <li>・未整備である「西児童館」・「青少年児童センター児童館」の整備を実施する。</li> <li>・児童館でのおはなし会用読み聞かせ絵本を中央図書館司書による選書を行い、児童館連携の団体貸出に組み込むことにより、おはなし会の充実に協力する。</li> </ul>
点検・評価	

施策名	中央図書館の管理・運営のあり方についての方針決定
事業名	中央図書館の管理・運営のあり方についての方針決定
目的	市民への図書館サービスの向上を目的とする。
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間活力・民間ノウハウの活用方法を検討し、平成28年度中に指定管理者制度、カウンター等の業務一部委託、現在の直営等の方針決定を行い準備を進める。</li> </ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館運営協議会での審議継続として3回開催する。</li> <li>・市民の意見調査のため、7月頃は無作為抽出にてアンケートの送付と、図書館利用者に対してもアンケートを実施する。</li> <li>・一般市民の意見を聞き集約するため、ワークショップを3回実施する。</li> <li>・先進地視察として10月頃、2施設の視察を行う。</li> </ul>
点検・評価	

施策名	市民によるボランティア活動の推進
事業名	ボランティアの育成事業
目的	ボランティア活動を展開し、市民による図書館運営の充実を図る。
目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H27年度末現在73名の全ボランティア登録者を5%以上増員する。</li> <li>・おはなし会のボランティアグループ育成と新たなボランティアグループの立ち上げをする。</li> <li>・館外図書返却ポスト事業において、市民ボランティアによる協力体制を整える。</li> </ul>
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによる自主勉強会を年3回実施する。</li> <li>・図書修理、書架整理、読み聞かせグループの各ボランティアが相互に交流し情報発信ができる場として年1回合同意見交換会を行う。</li> <li>・修理ボランティアのレベルアップ講座を年2回、読み聞かせボランティアの講座を年3回開催し、ボランティアの増員と育成を図る。</li> </ul>
点検・評価	

## 点検評価シート（生涯学習課）

施策名	生涯学習の推進
事業名	公民館講座実施事業
目的	学習を通じて一人ひとりの能力向上を図り、人と人がつながり、地域の絆を取り戻し、人づくり・まちづくり・幸せづくりにつなげていく。
目標	受講者数100%の講座を、6講座中4講座とする。 (大学連携講座、着付け講座、史跡めぐり講座、パソコン入門講座で合計6講座)
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報紙及びホームページでの案内</li> <li>・各講座のチラシを作成し、窓口などで直接手渡し受講を呼びかける。</li> <li>・受講者へ、他講座のチラシも配布し、ほかの公民館講座の受講を呼びかける。</li> </ul>
点検・評価	

施策名	生涯学習の推進
事業名	ながくて・学び・アイ講座実施事業
目的	学習を通じて一人ひとりの能力向上を図り、人と人がつながり、地域の絆を取り戻し、人づくり・まちづくり・幸せづくりにつなげていく。
目標	開講成立に至った講座のうち、受講者数100%の講座数7割とする。 (各種内容により30講座を予定)
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市広報紙及びホームページでの案内</li> <li>・各講座のチラシを作成し、窓口などで直接手渡し受講を呼びかける。</li> <li>・受講者へ、他講座のチラシも配布し、ほかのながくて・学び・アイ講座の受講を呼びかける。</li> </ul>
点検・評価	



点検評価シート(生涯学習課)

施策名	市民の健康づくりの促進
事業名	スポーツ教室
目的	市民の体力の向上及び健康促進をする。
目標	申込率100%の教室を14教室(総数22教室)から18教室(総数22教室)とする。
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枳ヶ池体育館内に募集教室及び次回募集教室の掲示板などを新たに設置して案内する。</li> <li>・新しく始まる、健康マイレージ事業と連携しチラシ等で案内する。</li> </ul>
点検・評価	

施策名	市民の健康づくりの促進
事業名	新春ふれあいマラソン大会
目的	市民の体力の向上及び健康促進をする。
目標	大会参加者を1,500人にする。
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・枳ヶ池体育館内に掲示板などを新たに設置して案内する。</li> <li>・新しく始まる、健康マイレージ事業と連携しチラシ等で早めに案内する。</li> <li>・新たにコスプレ賞などを導入する。</li> <li>・競技部門だけでなく、ジョギング部門も設け、より多くの方が参加しやすくする。</li> </ul>
点検・評価	

施策名	市民の健康づくりの促進
事業名	総合型地域スポーツクラブ事業
目的	市民自らの活動で、「いつでも、どこでも、誰でも」を合い言葉に子どもから高齢者まで様々なスポーツを気軽に楽しむことができる環境づくりを目指す。
目標	市民及びスポーツ教室の卒業生が継続してスポーツを行える環境づくりの方向性を検討する。
取組	継続してスポーツを行える環境づくりのため、各種関係団体(体協、スポ推、レク協など)から意見を聞くなど情報収集を行う。
点検・評価	

施策名	市民の健康づくりの促進
事業名	ウォーキング事業
目的	市民の自主的・継続的なウォーキングを習慣化する。
目標	「歩けあるけ運動」の平均参加者を、平成28年9月末までに50名/回、平成29年3月末までに70名/回とする。 「自然歩道を歩こう」は、定員数(80人)となる申込率100%とする。
取組	・枳ヶ池体育館内に新たに開催日や募集案内の掲示板などを設置して案内する。 ・校区毎の推奨ウォーキングマップを作成する。
点検・評価	

施策名	スポーツ活動の機会の増加
事業名	学校体育施設貸出し事業
目的	小学校の運動場、小中学校の体育館を開放し、市民にスポーツを行う場を提供し、学校のスポーツ施設の有効利用を図る。
目標	利用率を70%とする。
取組	・枳ヶ池体育館内に、新しく学校体育施設の貸出し案内掲示板などを設置して利用方法などの案内を拡充する。 ・体育館等の利用者について、随時チラシを配布し案内する。
点検・評価	

施策名	スポーツ活動の機会の増加
事業名	学校プール開放事業
目的	市民が、水泳や水遊びができる機会をつくり、体力の向上、健康促進を図る。
目標	1校あたりの入場者を70人/日とする。
取組	・平成28年度から、長久手小学校と南小学校(新規)の2校でプール開放を行う。 ・枳ヶ池体育館内に、学校プール開放に関する案内掲示板などを新たに設置して利用方法などを案内する。
点検・評価	

点検評価シート( みどりの推進課:平成こども塾 )

施策名	こどもの体験活動の提供とコミュニケーション力の向上
事業名	学校連携事業プログラム実施事業
目的	子どもたちの健全な心と身体を培い、世代を超えたコミュニケーション能力を育む。
目標	プログラム終了時に行っているアンケートにおいて、児童や教師の満足度の平均数値を90%から100%にする。 (学校連携プログラム数:64回)
取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>各プログラムの実施内容について、事前に、学校及び講師との調整を行い、児童が楽しんで体験できる講座を実施する。</li> <li>プログラム実施にあたり、単に説明時のみならず、進行途中にもサポーターなどからの声掛けをし、子どもとのコミュニケーションをとる。</li> </ul>
点検・評価	

施策名	こどもの体験活動の提供とコミュニケーション力の向上
事業名	サポータープログラム実施事業
目的	里山の豊かな環境を生かした体験活動を通して、子どもたちの感性や心、生きる力を育む。
目標	プログラム終了時に行っているアンケートにおいて、参加した親子の満足度の平均数値を90%から100%にする。 (サポート隊委託プログラム、サポーター自主プログラム数:112回)
取組	各プログラムの実施内容について、昨年度実施したプログラムについては、受講者のアンケート結果を再確認し、事前に、サポーターと打合せを行い、コミュニケーション力の向上となるプログラムを実施する。
点検・評価	

## 点検評価シート(文化の家)

施策名	誰もが参加でき、充実を得られる文化環境 ～次代を担う子どもの健やかな成長～
事業名	こども芸術体験事業
目的	市内の小学生、中学生を対象に、アーティストとアートを通じた交流によって未来を担う長久手の子どもたちの感性を育むことを目的としています。
目標	小学校6校、中学校3校で芸術体験を実施します。
取組	アンケートによる満足度を調査 満足度90%以上を目指します。
点検・評価	

施策名	誰もが参加でき、充実を得られる文化環境 ～芸術創造と市民文化活動の相乗効果の発揮～
事業名	市民参画公演事業
目的	子どもから大人まで親しめる芸術鑑賞・体験の機会を提供し、自己実現と芸術提供の意義を体感し、長久手がオリジナリティを持った芸術のまちであるアイデンティティを確立します。
目標	市民が企画に関わる公演事業を、年4本実施します。
取組	・フレンズ事業2本 ・映像鑑賞会1本 ・ホール公演1本
点検・評価	

施策名	誰もが参加でき、充実を得られる文化環境 ～文化を育む仕組みづくり～
事業名	貸し空間事業
目的	住民の自主的な諸活動に対し、アトリビングやホールなど、文化を育む活動場所を提供します。
目標	稼働率が低い諸施設を現段階から5%向上する。(暗室、光のホール、和室)
取組	・ホームページに各施設の利用方法を詳細に掲示する。 ・利用が想定される団体にDMを送付。
点検・評価	